



「えちご・ECO技術同友会」主催

小型移動ロボットの農業利用に関するワークショップ ～実用化に向けての課題・提案～

日時：平成23年2月27日（日） 14:00～16:45

会場：『ハイブ長岡』（2階）A・B会議室

食の安全への関心の高まりから、無農薬・低農薬野菜といった高付加価値作物の需要が高まっています。しかし、農業就労者の減少・高齢化により、近年の農業生産においては、その栽培が難しくなってきました。そこで、自律小型移動ロボットに農薬散布や除草を行なわせることで、作物栽培の労力を減らすことが提案されています。

ワークショップでは、高付加価値作物の栽培に利用する小型移動ロボットについて考えます。

- ・機能 - ロボットにはどのような機能が必要なの？
- ・安全 - 小型移動農業ロボットの安全性は？
- ・デザイン - 製品として市場に出すために必要なデザインは？

をキーワードに、ロボットの機能・安全・デザインに関する各専門家の講演と、

- ・使用者の意見 - 使用者が求めているものは何か？

という農業就労者の提案を加え、意見交換を行ないたいと思います。そして、

★★★★★ 『農業用小型移動ロボットの商品化』の課題を探ります。★★★★★

【ワークショップ・プログラム】

司会：齋藤 和夫（長岡技術科学大学・電気系）

14:00～14:10	開会の挨拶 大島 誠（「えちご・ECO技術同友会」会長，（有）大島鉄工所）
14:10～14:40	“圃場での小型移動ロボットの利用 ～新潟工科大学での取り組み～” 大金一二（新潟工科大学・機械制御システム工学科）
14:40～15:10	“国際安全規格からみた小型移動農業ロボットの実用化の課題” 木村哲也（長岡技術科学大学・システム安全系）
15:10～15:25	休憩
15:25～15:55	“ロボットのプロダクトデザインについて” 和田 裕（長岡造形大学・プロダクトデザイン学科）
15:55～16:25	“農作業へのロボット導入について ～農業従事者からの提案～” 石橋 篤（専業農家）
16:25～16:45	質疑・意見交換・閉会の挨拶

本ワークショップは（社）農林水産先端技術産業振興センターの支援を受け実施しています